



ゆい

平成24年度
心歩号

ゆいの里のマスコット
「ゆいちゃん」です



ゆいの詩 うた ～ありがとう～

作詞・作曲 浜秋 律子

いつもそばに 笑顔あり
想いをこめて ありがとう
ゆったり流れる ひとときを
やさしく包む ゆいの里



心やすらぐ 琵琶の地で
四季折々の めぐみうけ
みんなの心の ふるさとに
あなたと歩む ゆいの里



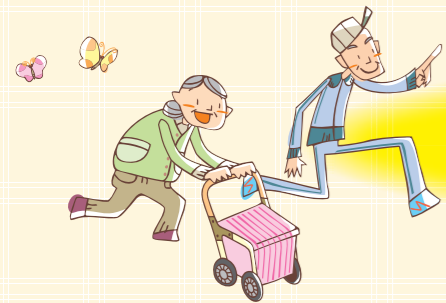
ゆいの里の詩ができましたので、ご紹介します♪



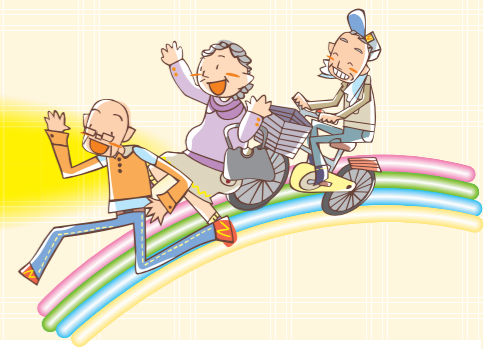
トピックス

「ゆいの里別館」開設しました！ P2～P3
別館をご案内します！ P4
ゆいの里訪問介護ステーション・
ボランティア交流会 P5

平成23年度事業報告・決算報告 P6～P7
お知らせ・平成23年度 寄付・おいしいね・
介護保険制度の改定について・編集後記 P8



「ゆいの里別館」開設しました!



ユニット名 紹介

和(なごみ) 歩(あゆみ) 恵(めぐみ) 結(むすび)

大きく4つに分けられたユニットの名前は、全職員の公募により、たくさんの候補の中から最も支持の多かった名前にしました。

和は、仲間(なじみの関係)、**歩**は、一緒に歩みましょう。
恵は、幸せを、**結**は、一緒に結びましょう。

仲間と一緒に歩み、幸せと一緒に結びましょうという想いで付けました。



お茶会ボランティア「江月会」さんによりお抹茶がふるまわれました。



ゆいの里のうたを披露させていただきました。



ゆいの里の歌を作って下さった浜秋律子様。祝賀会では素敵な音楽を演奏して下さいました。



まだまだこれからではありますが、創設者である廣田 明先生の想いを継承し、ゆいの里らしい家庭的な雰囲気のある別館にしていきたいと思っております。

記念植樹



神事後、中庭に紅梅と白梅を植樹しました。



新涼のころとなりました。ご利用の皆様、ボランティアの方々、そして地域住民の皆様はじめ関係各位の皆様からいつも大きなお力添えを頂戴致しております心より厚く御礼申し上げます。

おかげさまでもちまして創設より27年目に入る本年、特別養護老人ホームゆいの里は4ユニットの別館を増床致しまして6月より従来型60床と合わせて100床の特養となりました。また在宅部門におきましては5月より訪問介護事業を12年ぶりに復活し、秋以降は、地域ニーズに応じて、ショートステイ及びデイサービスの枠の拡大を予定致しております。在宅支援の一翼を担って、微力ながら地域包括ケアの中継拠点となってまいります。

職員も世代交代の時期を迎え、4月から特養ゆいの里園長が掛谷から藤井にバトンタッチ致しました。悲しい出来事が多い世の中ではありますが、社会福祉法人慈恵会では前を向いて心機一転、新しい一歩を踏み出してまいります。

守山市の福祉パイオニアとして地域に根ざし、皆様にお支えいただきながら、法人の温かい雰囲気やゆいの心で地域貢献する社会福祉法人慈恵会として今後も努力してまいりますので、どうぞ変わらぬご支援ご指導よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人慈恵会 理事長 廣田 加代子

無事、ゆいの里別館が完成したことを報告するため、5月30日(日)9時半より神事が行われました。勝部神社の宮司さんの取り計らいのもと、別館の建設に関わってくださった、湖北設計様、八田建設様、また法人の理事様、職員が出席し、厳かな雰囲気の中でとり行われました。神事終了後、別館2階で竣工式を行いました。ご多用の中、守山市長様はじめ、県・市の議員様及び職員様、近隣施設様や地元自治会長様など多数ご参加頂きました。

ゆいの里
ロゴマーク



はじめまして!

平成24年5月1日オープンしました!

ゆいの里 訪問介護ステーション

ゆいの里では、平成7年よりホームヘルパー派遣事業を行っていましたが、介護保険制度が始まる平成12年に、旧制度でのヘルパー事業を一旦終了しました。しかし、在宅生活を支えるうえで、ヘルパー派遣は必要不可欠であり、いつか復活させたいという思いを法人として強く持っていました。この度、平成24年4月の介護保険改定において『地域包括ケアシステム』の強化が推進され、その一役を担うために、5月1日より訪問介護事業を開始することとなりました。

概要

利用者様が培ってこられた生活習慣や文化・価値観を尊重し、住み慣れた地域で安心・安全に自立（自律）した生活を続けるためのお手伝いをさせていただきます。

ご自宅へ
お出かけが
いします☆



- 営業日/月～金曜日
(12月30日～1月3日は休業)
- サービス提供時間/ 8:30～17:30
(※時間外は要相談)
- サービス実施地域/ 守山市、野洲市
- 対象/ 要支援1・2、
要介護1～5の方



訪問介護(ホームヘルプ)とは…

要介護・要支援状態となっても、可能な限り自宅で日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が自宅に訪問し、必要なお手伝いをさせていただきます。

ヘルパー派遣をご希望の方は担当のケアマネジャーさんにご相談ください。
問い合わせ TEL.077-585-4533(代) 担当: 浦山

わいわい ボランティア交流会



シリコン鍋であっという間に
シフォンケーキのできあがり!

日頃お世話になっているボランティアさんに感謝の気持ちをお伝えする機会として、平成24年3月28日にボランティア交流会を開催いたしました。

今回で12回目を迎え、昼食のバイキングのメインは『華麗なるカレー』と題して5種類のカレーからお好きなものを選んでトッピングしていただきました。当日は81名のボランティアさんが参加くださり、テーブルを囲んで賑やかな交流会となりました。

また、今年新しく『シリコン鍋を使った料理教室』をゆいの里で開催し、交流会ではその腕前披露の場として実演もしていただきました。今流行りのシリコン鍋を使った料理はなかなか好評でした。

そしてこの度、衣類の修繕などで20年近く活動して下さったボランティアさんが、卒業されることになりました。ゆいの里一同より、ささやかですがお礼を伝えさせていただきました。本当に長い間ありがとうございました。

皆様、これからも末長くご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。

ボランティアさん募集! 担当: 栗林まで
興味をお持ちの方ご連絡お待ちしております。

別館をご案内します!

40床増設!!



ユニット型特養って?

一人一人の個性や生活リズムに合ったケアを目指し、居室が全て個室となっています。部屋を出るとリビングやキッチンがあります。1ユニット10名の少人数で生活を共にし、ユニットごとに介護職員を配置します。家庭的な雰囲気の中で「なじみ」の関係にある職員が、可能な限り「その人らしい生活」が継続できるよう支援します。

別館も順調に滑り出しましたが、創設者である故廣田明先生、良先生が示して下さった老人福祉、地域福祉への想いや、人としての生き方などの教えを実践するため、職員が一丸となってこれからも邁進し、地域からかわいがっていただけるゆいの里にしていきたいと思っています。

そのパロメーターは、ご利用者様やご家族様、地域の皆様の笑顔であり、その笑顔を支えている職員の笑顔こそが、真のパロメーターであると思っています。

この大切な人財の育成に、これからも取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地域住民様やボランティア様、事業者様に来ていただき、ありがとうございます。

来られた方々から「立派な建物ですね」と言っていたら嬉しさと共に、これからここに住んでいただくお年寄りの笑顔が浮かんだことを、思い出します。



5月の末に竣工式を終え、新たなご利用者様も合流されて、早4カ月が経過しました。

内覧会の際には、たくさんの方に来ていただき、ありがとうございます。

「別館開設に寄せて」

園長 藤井 晃

ユニットの玄関



各ユニットには、それぞれのユニットカラーを取り入れた、玄関があります。よく来たね。また来たね。我が家に遊びに来てくれたように、家族や来客者をお迎えします。

リビングダイニング



ご飯の炊ける匂い。コーヒーの香り。お家のような雰囲気です。食事の後片付けが終われば、ちょっと一息。開放的なテラスから、心地よい優しい光が差し込みます。ピアノの演奏を聞きながら気が付けば、うたた寝してしまおう。

お風呂



お風呂は、ユニットにあるお風呂で入ります。リフトが設置してあり、椅子に座ったままでも浴槽につかることも出来ます。入浴の時間は、職員とのおしゃべりタイム。お風呂からは楽しそうな笑い声が聞こえてきます。

トイレ



トイレは何より使いやすいのが一番! 前かがみになれる手すりや立ち上がりやすい可動式の手すりなど、使いやすいトイレを実現しました。誰もが行きたくなるトイレです。



特浴



ユニットのお風呂で入浴できなくても大丈夫。寝たままでも入浴できます。安心してお風呂に入れるね。もっと入りたいね。お風呂でほっこり。笑顔のあふれる時間です。

平成23年度 決算報告

平成23年度 事業報告

貸借対照表

資産の部	
流動資産	720,618
固定資産	1,652,445
(基本財産)	1,356,268
(その他固定資産)	296,177
資産の部合計	2,373,063

平成24年3月31日現在 (単価:千円)

負債の部	
流動負債	46,989
固定負債	214,325
負債の部合計	261,314
純資産の部	
基本金	437,122
国庫補助金等特別積立金	730,007
その他の積立金	100,000
次期繰越経営活動収支差額	844,620
(うち当期活動収支差額)	58,249
純資産の部合計	2,111,749
負債及び純資産の部合計	2,373,063

事業活動収支計算書

収入の部	
介護保険収入	689,888
経常経費・介護職員処遇改善補助金収入	13,722
寄付金収入	740
雑収入・給食費	7,826
退職給与引当金戻入収入	3,510
国庫補助金等特別積立金取崩額	34,907
事業活動収入計	750,593
受取利息配当金収入	1,124
経理区分間繰入金収入	31,262
その他収入(雑収入)	1,204
事業活動外収入計	33,590
施設整備等補助金収入	0
施設整備等寄付金収入	0
特別収入計	0
収入の部計	784,183

自:平成23年4月1日 至:平成24年3月31日

支出の部	
人件費支出	453,685
事務費支出	52,064
事業費支出	110,791
減価償却費	68,370
引当金繰入	5,240
事業活動支出計	690,150
借入金利息支出	444
経理区分間繰入金支出	31,262
その他支出(雑損失)	3,905
事業活動外支出計	35,611
国庫補助金等特別積立金積立額	173
特別支出計	173
支出の部計	725,934
当期活動収支差額	58,249

◆ 総括

- I. 利用者中心のサービス提供
 1. 利用者の尊厳のある生活を守る
 - 1) ユニット型特養建設の『プロジェクトメンバー』による推進
 - 2) ハードにふさわしいソフトになる様利用者との関係づくり
 2. 笑顔・温かい雰囲気大切に
 - 1) ボランティア・家族等による温かい雰囲気の提供
 - 2) ブログによる行事、日常の笑顔紹介
 - 3) 『笑顔が素敵で賞』の設立
- II. 地域福祉への貢献
 1. 地域ニーズに沿ったサービスの充実
 - 1) 地域サロンへの講師派遣(24件44人)で職員が講師を務めた
 2. 地域交流ホームの活用を図る
 - 1) 介護予防教室の毎月開催(6月～翌3月、総数205名参加)
 - 2) 地域住民対象のシリコンスチーム鍋の料理教室を3回開催
- III. 職員の資質の向上
 1. 高い専門性修得の為の研修制度整備
 - 1) 『職員の基礎知識』本による研修実施
 - 2) 新施設開所に向け他施設見学・ユニット研修
 - 3) 施設内外の研修参加
 2. 法人のサービスの質の向上
 - 1) 特養・デイサービスで第三者評価機関の導入により全国レベルでの評価を受け、多くの気付きを得た
- IV. 安全管理の徹底
 - 1) 事故防止に向けヒヤリハット・事故報告書の作成、分析
 - 2) 感染症予防
 - 3) 近隣施設、地元自治会と防災協定の締結
- V. 健全経営の確保
 - 1) 法人運営の見える化に努める→各事業で稼働率の目標設定をし、事業展開を行った(目標は未達成)
- VI. その他
 - 1) 人材確保のツールでマイナビ利用・学校訪問とガイダンスの実施
 - 2) 来期への準備(在宅サービス事業拡大・法人福祉基金など)

◆ 利用状況

特別養護老人ホーム(定員80名)				ショートステイ(定員12名)			
年間入所平均数	79.8名	平均入院数	3.6名	年間延べ利用者数	4,890名	1日平均	13.4名
平均年齢	83.3歳	最高齢者	103歳	平均要介護度	3.5		
平均要介護度	3.7	入退所数	15名/14名				

デイサービスセンター				
守山デイサービスセンター(定員32名)	年間延べ利用者数	7,006名	1日平均	26.17名
幸津川デイサービスセンター(定員35名)	年間延べ利用者数	7,040名	1日平均	27.3名

グループホーム(定員18名)				ケアハウス(定員50名)			
年間平均利用率	99%	1日平均	17.8名	年間平均利用率	99.2%	月平均	49.6名
平均年齢	82.9歳	最高齢者	93歳	平均年齢	83.5歳	最高齢者	91歳
平均要介護度	2.3						

居宅介護支援事業所				守山市委託事業			
年間給付実績件数	1,043件	月平均	86.9件	すこやかサロン(弁当型除く)			
年間予防実績件数	107件	月平均	8.9件	年間開催実績回数	26回	延べ参加人員数	1,091名
				転倒予防教室			
				年間延べ利用者数	806名	登録者数	87名

※各表は平成24年3月末現在のものです。

◆ 実習等受入数

実習受入先 佛教大学・京都華頂短期大学・びわこ学院大学・京都福祉専門学校・綾羽高校
 県総合保健専門学校・県シルバー人材センター・ゆうらいふ・アイデータほか3件
 体験学習受入先 明富中学校・野洲北中学校・守山北中学校ほか3校
 実習・体験受入数 58名

◆ ボランティア活動(特養のみ)

車椅子ダンス・音楽・お茶会・演芸会・手仕事の会・マッサージ・散歩・喫茶・お話・清掃等 年間延べ数 約1,060名

◆ 諸行事・クラブ活動

家族参加型の行事として、お花見・敬老祝賀会を開催(花見27名・敬老祝賀会40名超の参加)し、他に秋刀魚焼き、ピヤガーデンや餅つきなど季節を感じられる行事の実施。また、自治会を始め車椅子ダンス・演芸会・音楽会などをボランティアと共にクラブ活動も行いました。

◆ 職員研修状況

研修延べ回数 116回/年 参加延べ人数 945名/年 参加平均回数 8回/年

「創設者廣田明逝去のお知らせ」

平成24年5月28日午後7時53分、社会福祉法人慈恵会創設者廣田明は5カ月の闘病の末に89歳にて静かに息を引き取りました。

昭和33年に広田医院を開業、地域医療に関わる中で、守山市に老人福祉施設の必要性を痛感し、すでに還暦を越えた昭和60年、亡き妻良と共に社会福祉法人慈恵会を立ち上げ特養ゆいの里を開設致しました。

地域の皆さまはじめ関係の皆さまの大きなお支えを頂きながら、地域医療に50年、後半の27年

は老人福祉にも携わり、皆様のおかげで与えられた使命を全うでき、また心豊かに過ごさせて頂きました。

この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後は創設者が法人設立時に思い描いた施設福祉、地域福祉の更なる向上、そして穏やかで豊かな地域社会作りに貢献できますよう、職員一同、一層努力してまいります。

どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

おいしいね

高野豆腐のピカタ(材料2人分)

ご用意いただくもの

- 高野豆腐…大2枚
- コンソメ…小さじ1
- 水……………50ml
- 牛乳……………50ml
- 卵……………2個
- マーガリン…大さじ1
- ケチャップ…適量



- 【作り方】**
- 1 高野豆腐は水につけて戻し、水気を絞って厚みを半分にする。
※急ぐときは深めの器に入れ、かぶる程度の水を注いでラップをし、レンジで1分半加熱する。
 - 2 浅めの皿に戻した高野豆腐を並べ、牛乳とコンソメを溶いた水を注いでレンジで2分加熱し、汁気を吸わせる。
 - 3 フライパンにマーガリンを溶かし、高野豆腐を溶いた卵に1切れずつくぐらせて両面焼く。
 - 4 両面焼いたら残った卵液を再びくぐらせて焼き、卵液がなくなるまでくり返す。
 - 5 お皿に盛り付け、好みでケチャップをかける。

栄養士より
高野豆腐と牛乳でカルシウムや鉄分が豊富です。崩れにくいので焼くのも簡単。卵の衣でふんわりとした食感です。お好み焼き風にソースとマヨネー

ズをかけたたり、めんつゆにわさびやおろし生姜であっさり仕上げてもおいしいです。

平成23年度 寄付

ありがとうございました

- ・現金 16件 728,400円
- ・お米、お野菜、お花、季節の旬の物など多数

たくさんのお気持ちを頂戴致しました。おいしくいただき、また飾らせて頂いたりとお大助かっております。ありがとうございます。

編集後記

ゆいの里では、今年5月に『ゆいの里別館』（ユニット型特養）を開設しました。在宅部門では、『訪問介護ステーション』をオープンしました。

そして、時期を同じくして、法人創設者である、廣田明先生が逝去されました。今号では、故廣田明先生の想いを受け継ぎ、新たな一歩を踏み出したゆいの里の姿をお届け致します。

これからも“ゆいの心”を大切に、皆様と共に歩んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。



介護保険制度の改定について

もう既にご存知の事と存じますが、平成24年4月に、3年に1度の介護報酬改定が行われました。高齢者ができる限り住み慣れた地域で生活を続けられるように、医療・介護・予防・生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現が、大きな目標とされています。

特徴は、24時間定期巡回・随時対応のサービスが図られることです。また、必要なサービスを個々にではなく、組み合わせで提供できるように、効率化が図られます。より在宅介護の支援が強調される内容となりました。

改定に伴いゆいの里では、「訪問介護事業の開始」「デイサービスの多様化」等を在宅サービス事業の充実として図ります。また施設の重点化として、「緊急時の受け入れ」「個室ユニット化」「重度化への対応」を進めていきたいと思っております。

- ◆ 特別養護老人ホームゆいの里
- ◆ ゆいの里守山デイサービスセンター
- ◆ ゆいの里守山居宅介護支援事業所
- ◆ ショートステイゆいの里
- ◆ 守山市立幸津川デイサービスセンター
- ◆ ケアハウスゆい
- ◆ グループホームゆい
- ◆ ゆいの里訪問介護ステーション
- ◆ すこやかサロン事業

社会福祉法人慈恵会 ゆいの里 〒524-0103 滋賀県守山市洲本町1番地

TEL.077-585-4533 FAX.077-585-5675

● 代表 E-mail home@yuinosato.or.jp ● ホームページ <http://www.yuinosato.or.jp>

※写真の掲載許可はいただいております。 ※ご意見・ご感想は「ゆいの里」までお問い合わせください。